



2026

第78期 報告書

2025年4月1日～2026年3月31日

ティアック株式会社

証券コード:6803



株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は2026年3月31日をもちまして、第78期（2025年4月1日から2026年3月31日まで）を終了いたしましたので、ここに当社グループの事業の概況につきましてご報告申し上げます。

代表取締役社長

松野 陽介
Matsuno Yosuke

当期業績について

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、金融資本市場の変動の影響や米国の通商政策をめぐる動向に加え中東情勢の影響に注意する必要があります。

このような状況の中で当社グループは、音響機器事業のうちプレミアムオーディオ機器事業では、ESOTERICブランドにおいて、Grandiosoシリーズのラインナップ強化により、高音質、高付加価値な製品展開を推し進め、ブランド価値を高めることで、海外市場を伸ばし堅実な成長路線を引き続き目指してまいりました。TEACブランドにおいて、引き続き中高級機のReferenceシリーズの更なる強化により、収益とブランドイメージの向上に努めてまいりました。輸入ブランドにおいては、ブランドの持つ個性を訴求することで、ブランドの定着を強化してまいりました。

音楽制作・業務用オーディオ機器事業（TASCAMブランド）では、業務用デジタルミキサーを軸としながら、周辺機器のラインナップ拡充も行っており、従来の録音再生機器とともに、更に柔軟で質の高いトータルシステムソリューションの提供を強みとしたBtoB事業の拡大に努めてまいりました。また、BtoC事業においては、製品ポートフォリオの見直しを進め、付加価値を明確に中高価格帯へ転換し、採算性の向上と市場シェアの拡大を目指してまいりました。

情報機器事業においては、当社のコアコンピタンスである「高度な記録と再生技術」をベースに計測、半

導体、医療、移動体の各分野において独自技術や先端技術を組込んだ製品開発を行い、ニッチトップポジションの獲得を進めてまいりました。また、海外市場における販売拡大を最重要課題として位置づけ、人的資本の積極的な投入、マーケティング活動の強化、さらにはグローバルなニーズを踏まえた製品戦略の展開を通じて、着実な成長を目指してまいりました。

当連結会計年度におきましては、音楽制作・業務用オーディオ機器（TASCAMブランド）および医用画像記録再生機器とソリューションビジネスが好調に推移し売上収益は前期比で増加しました。営業利益につきましては、収益の増加に加え、個別開示項目として計上した「連結孫会社の解散および清算に伴う利益」も加わり増益となりました。また、為替リスク対策を含む金融費用の圧縮を進めた結果、親会社の所有者に帰属する当期利益も計上し前期比で増益となりました。

この結果、当社グループの連結会計年度の売上収益は159億4千3百万円（前期比1.8%増）、営業利益は6億7千6百万円（前期比98.8%増）、親会社の所有者に帰属する当期利益5億7千8百万円（前期比612.6%増）となりました。

株主の皆様に対する利益還元については、2026年5月13日に開示いたしました「株主還元方針に関するお知らせ」に記載の通り、中長期的な企業価値向上のために人材、技術開発、ブランド価値向上等の成長投資に資金を投下し、機動的な経営を可能にするための内部留保の適正な水準を維持しつつ、株主の皆様への還元を最大化することを株主還元の基本方針といたしました。2027年3月期以降においても、自己資本比率が

25%を超えることを目安として配当を実施しつつ、中期経営計画達成の進捗に応じ、配当性向20%以上にに向けた段階的な株主還元の強化を目指してまいります。当期の期末配当につきましては、当事業年度において同方針で配当再開の目安といたしました自己資本比率25%を超えた事から当初の予想通り1株当たり1円を予定しております。また、次期の配当につきましては、業績及び財務状況の向上に努め上述の方針のもとで年間配当予想を1株当たり1円（期末配当金）といたします。

中期経営計画および次期の業績見通しについて

当社グループは、資本効率重視フェーズへの本格的な移行を軸とした2029年3月期を最終年度とする中期経営計画「S-10計画」を策定いたしました。「S-10計画」の詳細につきましては、2026年5月13日公表の「中期経営計画策定に関するお知らせ」をご参照ください。「S-10計画」の初年度となる次期につきましては、資本効率を意識した事業ポートフォリオの最適化を進め、成長中核カテゴリーへの投資を重点的に実施してまいります。しかしながら、為替相場や原材料価格の変動、各国の通商政策の動向等により、原価および収益性が影響を受ける可能性があります。加えて、世界経済の先行き不透明感や地政学的リスクの高まりにより、市場環境が急変する可能性があります。

2026年3月

連結業績ハイライト（国際会計基準）

※ 2026年5月13日公表の当社2026年3月期決算短信における連結業績予想

	第76期 2024年3月期	第77期 2025年3月期	第78期 2026年3月期	第79期見通し※ 2027年3月期
売上収益	15,672	15,668	15,943	16,000
営業利益	445	340	676	500
税引前当期利益	5	59	612	350
親会社の所有者に帰属する当期利益	△53	81	578	300
基本的1株当たり当期利益	△1.85	2.82	20.07	10.42
資産合計	11,871	10,815	10,593	—
資本合計	3,574	3,558	4,070	—

音響機器事業 69.4%

売上収益	11,069百万円 (前期比 0.2%増)
セグメント営業利益	1,484百万円 (前期比 21.7%増)

プレミアムオーディオ機器 (ESOTERICブランド、TEACブランド) は、ESOTERICブランドにおいて、新製品の上市があったネットワークプレーヤーカテゴリーの販売は前年を大幅に上回りましたが、SACDプレーヤーカテゴリーは、全世界のストリーミングオーディオ人気の影響もあり、前年実績を下回りました。TEACブランドにおいては、Referenceシリーズの販売が好調に推移したことに合わせ、中国でのレコード需要の高まりを受けてターンテーブルカテゴリーの販売も好調に推移しました。輸入ブランドにおいては、Tannoyブランドの製品供給が回復せず、前年実績に届きませんでした。プレミアムオーディオ機器全体としては、前期比で減収となりました。

音楽制作・業務用オーディオ機器 (TASCAMブランド) は、BtoB事業において、設備機器の安定した需要に加え、提案営業の取り組み強化により、主力の録音再生機および周辺機器の販売が堅調に推移し、事業全体の売上を牽引しました。BtoC事業では、付加価値の高い中高価格帯製品への安定した需要が継続したものの、米国防商政策対応に伴う生産計画の変更や、出荷制限の実施により供給が制約され、十分に需要を満たす事ができませんでした。BtoB事業の好調がBtoC事業の低調さを補い、音楽制作・業務用オーディオ機器全体では前期比で増収となりました。

- ハイエンドオーディオ機器
- プレミアムオーディオ機器
- 音楽制作・業務用オーディオ機器

オリジナルブランド

ESOTERIC TEAC TASCAM

情報機器事業 25.2%

売上収益	4,013百万円 (前期比 0.6%増)
セグメント営業利益	3百万円 (前期セグメント営業利益209百万円)

計測機器は、データレコーダーにおいて、前期末に上市した新製品に関する来期案件の開拓が進展した一方、当期はリースレンタル業界向けの導入が伸び悩み、またセンサー・アンプでは、メモリ需給逼迫を背景に半導体製造装置メーカー各社の増産計画が進み、当社製品への引き合いも増加しましたが、当連結会計年度における業績への寄与は限定的に留まり、カテゴリー全体では前期比で減収となりました。

医用画像記録再生機器は、国内の消化器内視鏡向けレコーダーの販売が引き続き堅調に推移し、フラッグシップモデルの手術画像記録用4Kレコーダーも、海外における拡販が大きく進展したことから、前期比で増収となりました。

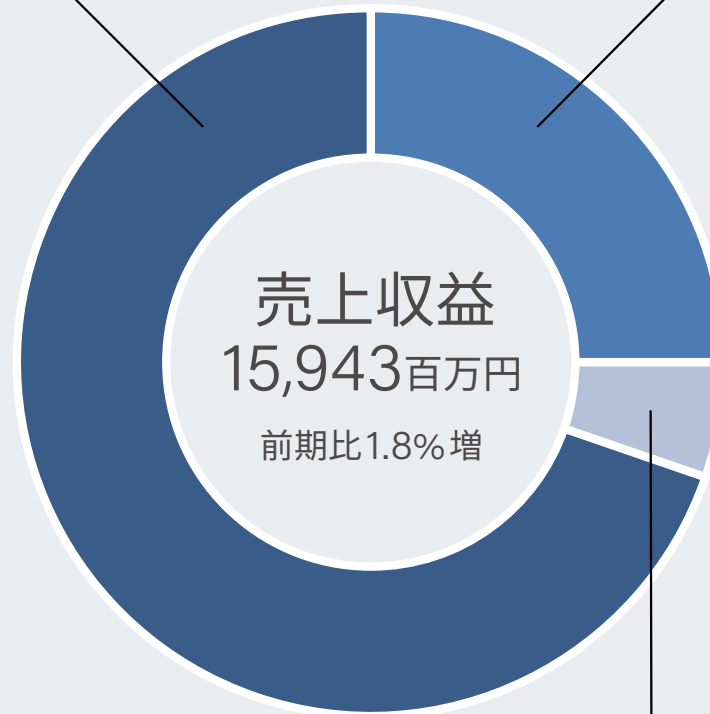
機内エンターテインメント機器は、機内サーバーの国内エアライン向け導入が完了しましたが、海外向け大口案件が先送りとなったことから、前期比で減収となりました。

ソリューションビジネスは、医用向けサーバーやPCなどの出荷、ネットワーク・インフラの保守サービスが引き続き好調に推移し、前期比で増収となりました。

- 計測機器 データレコーダー
トランスデューサー
- 医用画像記録再生機器
- 機内エンターテインメント機器
- ソリューションビジネス

オリジナルブランド

TEAC



その他事業 5.4%

売上収益	861百万円 (前期比 35.6%増)
セグメント営業利益	21百万円 (前期比 2.8%減)

- EMS 事業
- 産業用光ドライブ

要約連結財政状態計算書

(単位:百万円)

	当期 2026年 3月31日現在	前期 2025年 3月31日現在
■ 資産		
流動資産	8,447	8,568
現金及び現金同等物	2,173	1,552
営業債権及びその他の債権	2,747	3,108
棚卸資産	3,275	3,661
その他の流動資産	252	248
非流動資産	2,146	2,246
有形固定資産	1,674	1,853
無形資産	110	115
繰延税金資産	24	11
その他の金融資産	146	143
その他の非流動資産	192	125
資産合計	10,593	10,815

(単位:百万円)

	当期 2026年 3月31日現在	前期 2025年 3月31日現在
■ 負債		
流動負債	5,526	5,557
社債及び借入金	2,567	2,565
リース負債	304	373
営業債務及びその他の債務	912	1,024
引当金	767	689
未払法人所得税	31	13
その他の流動負債	946	894
非流動負債	997	1,700
社債及び借入金	409	797
リース負債	295	477
長期未払金	203	336
引当金	45	44
繰延税金負債	37	22
その他の非流動負債	8	24
負債合計	6,523	7,257
■ 資本		
親会社の所有者に帰属する持分	4,070	3,558
資本金	3,500	3,500
資本剰余金	11	11
自己株式	△ 122	△ 122
利益剰余金	2,799	2,211
利益剰余金 (IFRS移行時の累積換算差額)	△ 3,430	△ 3,430
その他の資本の構成要素	1,312	1,387
非支配持分	0	0
資本合計	4,070	3,558
負債及び資本合計	10,593	10,815

要約連結損益計算書

(単位:百万円)

	当期 2025年4月1日~ 2026年3月31日	前期 2024年4月1日~ 2025年3月31日
売上収益	15,943	15,668
売上原価	9,101	8,872
売上総利益	6,843	6,796
販売費及び一般管理費	6,447	6,413
その他の損益	17	△ 44
個別開示項目前営業利益	413	340
個別開示項目	263	—
営業利益	676	340
金融収益	92	6
金融費用	155	287
税引前当期利益	612	59
法人所得税費用	34	△ 22
当期利益	578	81
当期利益の帰属先		
親会社の所有者持分	578	81
非支配持分	—	—

Point 1 連結財政状態計算書

<資産合計>

現金及び現金同等物の増加622百万円、営業債権及びその他の債権の減少361百万円、棚卸資産の減少386百万円、有形固定資産の減少179百万円が主な要因となり、前期末と比較して221百万円の減少となりました。

<負債合計>

営業債務及びその他の債務の減少112百万円、社債及び借入金の減少385百万円、リース負債の減少251百万円が主な要因となり、前期末と比較して734百万円の減少となりました。

<資本合計>

親会社の所有者に帰属する当期利益578百万円の計上が主な要因となり、前期末と比較して513百万円の増加となりました。

Point 2 連結損益計算書

音楽制作・業務用オーディオ機器（TASCAMブランド）および医用画像記録再生機器とソリューションビジネスが好調に推移し売上収益は前期比で増加しました。営業利益につきましては、収益の増加に加え、個別開示項目として計上した「連結孫会社の解散および清算に伴う利益」も加わり増益となりました。また、為替リスク対策を含む金融費用の圧縮を進めた結果、親会社の所有者に帰属する当期利益も計上し前期比で増益となりました。

要約連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

	当期	前期
	2025年4月1日~ 2026年3月31日	2024年4月1日~ 2025年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	1,610	1,178
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 150	△ 115
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 883	△ 706
現金及び現金同等物に 係る換算差額	46	△ 33
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	662	325
現金及び現金同等物 期首残高	1,552	1,227
現金及び現金同等物 期末残高	2,173	1,552

要約連結持分変動計算書 (2025年4月1日~2026年3月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	自己 株式	利益 剰余金	利益剰余金 (IFRS移行時の 累積換算差額)	その他の 資本の 構成要素	合計		
当期首残高	3,500	11	△ 122	2,211	△ 3,430	1,387	3,558	—	3,558
当期包括利益									
当期利益(△損失)				578			578		578
その他の包括利益						△ 36	△ 36		△ 36
当期包括利益合計	—	—	—	578	—	△ 36	542		542
所有者との取引額									
配当金				△ 29			△ 29		△ 29
自己株式の取得			△ 0				△ 0		△ 0
その他の資本の構成要素か ら利益剰余金への振替額				39		△ 39	—		—
所有者との取引等計	—	—	△ 0	10	—	△ 39	△ 29	—	△ 29
当期末残高	3,500	11	△ 122	2,799	△ 3,430	1,312	4,070	—	4,070

※連結財務諸表の記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。

Point 3 連結キャッシュ・フロー計算書

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

主な内訳は、プラス要因として、減価償却費及び償却費 513 百万円、金融収益及び金融費用 155 百万円、営業債権及びその他の債権の減少 400 百万円、棚卸資産の減少 562 百万円、マイナス要因として、営業債務及びその他の債務の減少 134 百万円、長期未払金の減少 155 百万円。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

主な内訳は、プラス要因として、有形固定資産及び無形資産の売却による収入 2 百万円、マイナス要因としては、有形固定資産及び無形資産の取得による支出 151 百万円。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

主な内訳は、プラス要因として、短期借入金の純増減額 28 百万円、マイナス要因としては、長期借入金の返済による支出 381 百万円、リース負債の返済による支出 405 百万円。

要約貸借対照表

(単位：百万円)

	当期 2026年3月31日現在
■ 資産の部	
流動資産	5,594
現金及び預金	1,004
受取手形	1
電子記録債権	214
売掛金及び契約資産	1,641
商品	981
原材料及び仕掛品	537
前払費用	146
関係会社短期貸付金	908
未収入金	152
リース債権	4
その他	15
貸倒引当金	△ 9
固定資産	5,680
有形固定資産	1,411
無形固定資産	70
投資その他の資産	4,199
資産合計	11,274

(単位：百万円)

	当期 2026年3月31日現在
■ 負債の部	
流動負債	5,748
電子記録債務	93
買掛金	520
短期借入金	2,181
関係会社短期借入金	1,524
1年内返済予定の長期借入金	356
1年内償還予定の社債	50
リース債務	12
未払金	337
未払費用	160
未払法人税等	55
前受収益	1
前受金	62
預り金	15
賞与引当金	245
製品保証引当金	42
未払消費税等	60
その他	35
固定負債	650
負債合計	6,398
■ 純資産の部	
株主資本	4,876
資本金	3,500
資本剰余金	54
利益剰余金	1,444
自己株式	△ 122
純資産合計	4,876
負債及び純資産合計	11,274

要約損益計算書

(単位：百万円)

	当期 2025年4月1日～ 2026年3月31日
売上高	10,658
売上原価	6,030
売上総利益	4,629
販売費及び一般管理費	4,640
営業利益（△損失）	△ 12
営業外収益	415
営業外費用	205
経常利益	199
特別収益	65
特別損失	—
税引前当期純利益	263
法人税等調整額	△ 26
当期純利益	290

要約株主資本等変動計算書（2025年4月1日～2026年3月31日）

(単位：百万円)

	株主資本						自己株式	株主資本 合計	純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式			
		その他 資本剰余金	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計				
当期首残高	3,500	54	6	1,177	1,183	△ 122	4,615	4,615	
当期変動額									
剰余金の配当				△ 29	△ 29		△ 29	△ 29	
利益準備金の積立			3	△ 3	—		—	—	
当期純利益				290	290		290	290	
自己株式の取得						△ 0	△ 0	△ 0	
当期変動額合計	—	—	3	258	261	△ 0	261	261	
当期末残高	3,500	54	9	1,435	1,444	△ 122	4,876	4,876	

※単体財務諸表の記載金額は百万円未満を切り捨てて、表示しております。



TEAC

ネットワーク・トランスポート NT-507T

TEACでは、ネットワークトランスポート『NT-507T』を昨年12月下旬より市場投入しました。

本機はTEACならではの徹底した高音質へのこだわりと、優れた操作性を併せ持っており、音楽配信の楽しみは更なる次元へ進化します。

『NT-507T』は、USBデジタル出力に特化したReference 500シリーズのネットワーク・トランスポートです。ディスクリットDAC「TRDD 5」搭載の『UD-507』など、お手持ちのUSB DACに接続して、Qobuzをはじめとする多様な音楽ストリーミングやNASのハイレゾ音源を高音質でお楽しみいただけます。堅牢な筐体設計と洗練された操作性により、次世代のオーディオシステムの中核を担うモデルとして幅広いユーザーからの要求に応えます。

今後も、長年培った音響技術と独自の設計思想を活かし、グローバル市場に向けた製品開発を推進し続けます。



ESOTERIC

ネットワークDACプリアンプ N-05XE

クラスAステレオパワーアンプ S-05XE

ESOTERICでは、ベストセラーモデル2機種が「XE」に進化。ネットワークDACプリアンプ『N-05XE』、クラスAステレオパワーアンプ『S-05XE』を正式に発表、ウルトラ・ハイエンド・システムの魅力を凝縮したミニマルでパーサタイルな世界観を提案します。

『N-05XE』は、最小のシステム構成で、最高の音質をお届けするために設計されたネットワークDACプリアンプです。光ネットワーク接続対応G4ネットワーク・エンジン、次世代のG2ディスクリットDAC、Grandiosoモデル直系のデュアルバランス・プリアンプに加え、ヘッドホンアンプも搭載。大きく進化したサウンドを提供します。

『S-05XE』はクラスAならではの透明感、ESOTERICならではのスケール感豊かな立体的サウンドステージ。新設計の完全シンメトリー・バランス入力バッファアンプ、1,000VAの大容量トロイダルコア電源トランス、ユニークなデュアルモノ電源平滑回路など、先鋭の新技术を投入してブラッシュアップされたクラスAステレオパワーアンプの新しいベンチマークです。磨き抜かれ、より一層スケールアップしたESOTERICシグネチャーサウンドを心ゆくまでお楽しみいただけます。

今後も、長年培った技術力と設計哲学を活かし、世界のオーディオファンに感動を届ける製品開発を推進してまいります。



TASCAM

デジタルミキサー電源二重化モデル TASCAM Sonicview 24dp/16dp

デジタルミキサー『TASCAM Sonicview』シリーズの追加ラインナップとして電源二重化モデル『TASCAM Sonicview 24 dp』『TASCAM Sonicview 16dp』の2モデルを昨年12月に出荷開始しました。

『TASCAM Sonicview』シリーズは高い音質と信頼性、直観的な操作性、さらには放送局の運用などに適したデジタルミキサーとしてご好評をいただいております。多数の導入が進む中、世界中のプロフェッショナルユーザーからの要望に応え、DC INPUTを追加した電源二重化モデル『TASCAM Sonicview 24dp』および『TASCAM Sonicview 16dp』をラインナップに追加しました。

電源二重化対応により生放送スタジオや中継用途だけでなく、ライブサウンドの用途に至るまで、音声送出を中断することが許されない現場においては、従来以上に導入しやすい音声卓へと進化しました。

また、オプションカード『IF-ST2110』を搭載することにより、革新的にリーズナブルな価格でSMPTE ST 2110システムに対応可能な音声卓となる『TASCAM Sonicview』シリーズは、電源二重化対応によって、近年導入が進むIPシステムにおいてもより活用を広げます。

TASCAMはこれからも、お客様の声や要望に応え、現場から信頼される製品づくりを通じて、プロフェッショナルの業務を支えてまいります。



TEAC

内視鏡イメージレコーダー MV-5

2019年より販売してまいりました、『MV-1』の後継として、セキュリティ機能を強化した内視鏡イメージレコーダー『MV-5』を2026年6月より国内販売開始いたします。

消化器内視鏡との高度な連携機能を継承しつつ、内蔵HDDデータの暗号化機能や予め設定されたユーザーID/パスワードでログインして操作が可能となるユーザー制限機能、USBデバイスの使用制限設定などのセキュリティ対策を新たに搭載しました。5インチタッチパネルの操作性向上や外部タッチパネル対応により設置の自由度も高め、映像記録では、これまで採用してきたH.264に加え高圧縮・高画質なH.265に対応し、MP4形式での保存を可能としました。またネットワークプリント機能により、PCを介さず画像出力ができ、診療現場の効率化に寄ります。低遅延出力や多様な映像入出力、1TB内蔵ストレージ搭載など実用性も強化されました。

これからも、安全性・操作性・信頼性向上を実現する製品を提供していきます。

会社の概要

商号 ティアック株式会社
(TEAC CORPORATION)
本社 〒206-8530
東京都多摩市落合一丁目47番地
設立 1953年8月26日
資本金 35億円
事業年度 4月1日～翌年3月31日
代表者 代表取締役社長 松野 陽介
従業員数 単体225名 連結524名
(2026年3月31日現在)

●国内拠点

ティアック株式会社 [東京都]
本社 [東京都]
EMCセンター [埼玉県]
大阪営業所 [大阪府]
名古屋営業所 [愛知県]
ティアックマニュファクチャリングソリューションズ株式会社 [東京都]
ティアックカスタマーソリューションズ株式会社 [埼玉県]
ティアックシステムソリューションズ株式会社 [東京都]

●海外拠点

TEAC AMERICA, INC. [米国]
TEAC EUROPE GmbH [ドイツ]
TEAC SALES & TRADING (ShenZhen) CO., LTD. [中国]
TEAC AUDIO (CHINA) CO., LTD. [香港]
DONGGUAN TEAC ELECTRONICS CO., LTD. [中国]

役員

取締役会長 英 裕 治
代表取締役社長 松 野 陽 介
取締役 倉 原 良 弘
取締役(監査等委員) 原 琢 己
取締役(監査等委員) 坂 口 洋 二
取締役(監査等委員) 金 子 靖 代

株式の状況

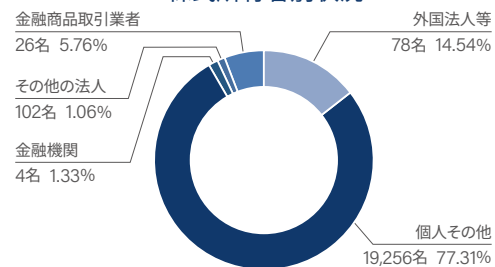
発行可能株式総数 …… 40,000,000株
発行済株式の総数 …… 28,801,487株
(自己株式130,226株を除く)
株主数 …… 19,467名

大株主 (上位10名)

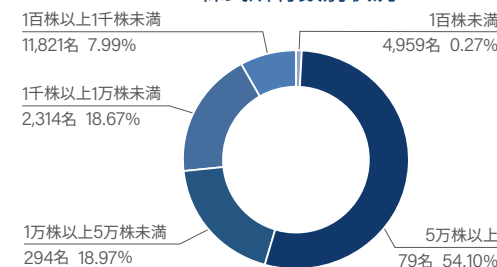
株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
山下 良久	935	3.25
松尾 博	838	2.91
力丸 米雄	711	2.47
勝山 隆一郎	633	2.20
中島 和信	597	2.07
BOFAS INC OMNIBUS ACCOUNT	578	2.01
金子 武弘	570	1.98
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140040	562	1.95
CGMI PB CUSTOMER ACCOUNT	535	1.86
ティアック社員持株会	501	1.74

※持株数は表示単位未満を、出資比率は小数点第3位を四捨五入して表示しております。
※持株比率は、自己株式(130,226株)を控除して計算しております。

株式所有者別状況



株式所有数別状況



株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
配当金受領株主確定日 3月31日
単元株式数 100株
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先 東京都府中市日網町1-1
TEL 0120-232-711 (通話料無料)
(郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
上場証券取引所 東京証券取引所 スタンダード市場
公告の方法 電子公告により行う。
公告掲載URL <https://www.teac.co.jp/about/jp/koukoku>
(ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に公告します。)

【株式事務に関するご案内】

- 各種お手続きのお問合せ窓口について
株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きについて

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

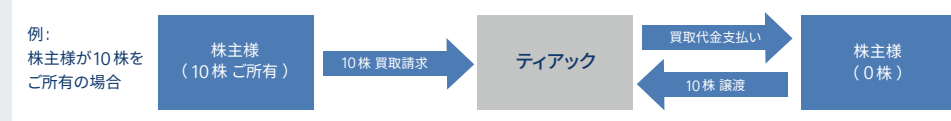
単元未満株式をご所有の株主様へ

単元未満株式(100株に満たない株式)の買取請求のご案内

単元未満株式(100株に満たない株式)については、「単元未満株式の買取請求」により、当社に売却をしていただくことができます。
当社は、単元未満株式の買取請求に係る**当社手数料を無料**※としておりますので、本制度のご利用をご検討くださいますようお願い申し上げます。
※無料となる手数料は当社に係る手数料です。証券会社等において取次手数料等がかかる場合もあります。

●証券会社等の口座でご所有の株主様
お取引のある証券会社等にお問合せください。

●特別口座でご所有の株主様
(証券会社等にお取引口座がない株主様)
特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部(TEL 0120-232-711<通話料無料>)にお問合せください。



ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合一丁目47番地
TEL 042-356-9100 (代表)

ホームページアドレス <https://www.teac.co.jp/jp/>